平成３０年度

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）

学生募集要項

［一　　般　　選　　抜］
［社 会 人 特 別 選 抜］
［外国人留学生特別選抜］

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科

http://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）

医歯学総合研究科の教育

20世紀後半に始まった遺伝子解析、生命・生物情報学など生命科学研究の飛躍的な発展が、21世紀に入り、医学・医療や歯学・歯科医療を大きく変貌させてきており、遺伝子治療や再生医学を始めとして、生命科学研究を応用した新しい医学の展開、ゲノム創薬、生体機能支援技術の開発など実用化への取組みが現実的なものとなってきています。医歯学研究の発展のために、医学、歯学領域に加え、理学、工学、薬学などの周辺領域との連携、あるいは融合も求められています。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科では、医学・歯学・医療における学識と専門的技能を修得した人材を育成します。大学院博士課程として、疾病予防を中心とした健康科学専攻と先端医療技術の推進を中心とした先進治療科学専攻の２専攻を設けています。修士課程として医科学専攻を設け、医学、歯学および獣医学以外の学部学科を卒業した学生や一般社会人を対象に受け入れています。

教育目標（修士課程）

医科学専攻：医学や歯学に関する知識・技術を多様な分野で応用して活躍できる人材の育成を目的としています。学生はヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と専門家としての基本的な能力を修得し、広い視野と倫理観を有した人材となることを目指します。

【入学者受入方針】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

＜医歯学総合研究科の教育目標＞

医科学専攻：医学や歯学に関する知識・技術を多様な分野で応用して活躍できる人材の育成を目的としています。学生はヒトの疾病の予防と治療、環境の保全と社会の発展に応用できる専門的知識と専門家としての基本的な能力を修得し、広い視野と倫理観を有した人材となることを目指します。

＜入学者受入方針（アドミッションポリシー）＞

（修士課程）

１．求める人材像

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科は、教育理念と学位授与の方針に基づいて、地域および国際社会の医学・歯学・医療の発展に貢献する人材を育成するため、所定の入学要件を満たした、以下のような人を求めています。

・高度医療職業人として医療、福祉、医療行政に従事することを目指す人
・医学、歯学、医療に関する研究に熱心に取り組み、学ぶ意欲のある人
・異分野・異文化に関心を持ち、国際的なコミュニケーション能力のある人
・学士としての確かな基礎学力と専門分野における知識・技能を有する人
・主体的に学ぶ態度を身につけ、専門分野に関連する地域および国際社会の諸問題に関心を持つ人
・自ら課題を発見・探求・解決しようとする意欲に満ちた人

２．入学前に身に付けておいて欲しいこと

・生命科学あるいは関連する領域の学士課程修了に相当する基礎学力
・専門分野における国際的な論文等を読解する語学力
・学士としての確かな基礎学力と専門分野における基礎的な知識・技能
・主体的に学ぶ態度と専門分野に関連する地域および国際社会の諸問題への関心
・自ら課題を発見・探求・解決する姿勢

３．入学者選抜の基本方針

所定の出願資格を有した志願者を対象に、小論文で医科学領域の基礎学力を、外国語試験（英語）で医科学領域に関わる分野の英語の文献を読解する能力（外国人留学生に対しては外国人用英語および日本語試験で英語の読解力と研究を進める上で必要な語学力）を審査します。

出願に係る個人情報保護について

個人情報保護に関しては、以下のとおり取り扱いますのでご了承願います。

１．利用目的

出願にあたって提供された氏名、住所その他個人情報は、次に掲げる目的に利用いたします。

（１）入学者選抜、合格発表、入学手続きなど、入学までの一連の業務を行うため。
（２）入学後の学籍関係（学生証交付、各種学籍処理、証明書発行等）、修学関係（履修登録、学業成績等）及びそれらの連絡通知を行うため。
（３）その他、本学の教育・研究、学生支援に必要な業務を行うため。

２．第三者への個人情報の提供について

個人情報の第三者への提供は、次に掲げる場合に限ることにいたします。

（１）本学入学者について、名簿作成及び連絡通知等に使用するために本学の関連組織である学友会・同窓会等から名前、所属に限り照合に応じる場合。
（２）法令に基づき公的機関等の要求に応じる場合や出願者本人及び第三者の生命・身体・財産の権利利益を保護するために必要な場合は、本人の同意を取ることなく、個人情報を提供する場合があります。
（３）法律で定められた適正な手続きにより情報開示を求められた場合。

目　　次

学生募集要項

１．専攻及び募集人員 ･･･ 1

２．出願資格 ･･･ 1

３．選抜日程等 ･･ 3

４．出願手続 ･･･ 3

５．入学者選抜試験場 ･･ 5

６．選抜方法 ･･･ 5

７．出願及び受験にあたっての注意事項 ････････････････････････････････････ 6

８．合格者発表 ･･ 6

９．入学手続・授業料等学生納付金 ･･ 6

10．入試情報の公開・開示 ･･ 7

11．「職業実践力育成プログラム」（BP）及び
「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）」について ･････････････････ 7

医歯学総合研究科医科学専攻案内

専攻及び取得学位、修了要件及び履修方法等 ･････････････････････････････ 8

医科学専攻における研究分野と受入可能人数 ･････････････････････････････ 11

医科学専攻の研究指導教員一覧 ･･ 13

授業科目一覧（修士課程）･･ 19

本研究科所定の様式

入学志願書、写真票・受験票、研究志望書、受入内諾書（第１志望～第３志望）、
検定料納付確認票、承諾書、出願資格認定申請書 ･････････（以上綴じ込み）
払込取扱票等（郵便局用）、封筒（大１、小１）
宛名シール

試験場案内及び交通案内略図

平成３０年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻修士課程学生募集要項

１．専攻及び募集人員

専　　攻（コース）	選　抜　区　分	募　集　人　員
医　科　学　専攻 （先端バイオサイエンスコース 高度メディカル専門職コース） ※　各コースの概要は９頁を参照願います	一　　般　　選　　抜	１０人 ※募集人員には、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜の若干人を含む。なお、募集人員はコース毎には分けず、２コース合わせた募集とする。
	社 会 人 特 別 選 抜	
	外国人留学生特別選抜	

２．出願資格

（１）出願資格

次の各号の**いずれかに該当**する者とします。

①　大学を卒業した者又は平成30年３月末までに卒業見込みの者

②　学校教育法第104条第４項の規定により学士の学位を授与された者又は平成30年３月末までに学士の学位を授与される見込みの者

③　外国において、学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年３月末までに修了見込みの者

④　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者又は平成30年３月末までに修了見込みの者

⑤　我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は平成30年３月末までに修了見込みの者

⑥　外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が３年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者又は平成30年３月末までに授与される見込みの者

⑦　専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者又は平成30年３月末までに修了見込みの者

⑧　文部科学大臣の指定した者（昭和28年２月７日文部省告示第５号）

⑨　平成30年３月末現在で大学に３年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本研究科において認めた者

⑩　個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、22歳に達したもの又は平成30年３月末までに22歳に達するもの（学校教育法施行規則第155条第１項第８号）

出願資格⑨、⑩により出願する場合は、事前に審査を行う必要がありますので、あらかじめ学務課医歯学大学院係まで照会のうえ、次の要領のとおり書類を送付してください。

出　願　資　格　審　査　要　領	
提　出　期　限	平成２９年　８月　８日(火)　１６時締切
提　出　書　類	・出願資格認定申請書（本要項とじこみ）　・最終学校の成績証明書 ・最終学校の卒業（見込）証明書　・在職証明書（該当者のみ、従事した職務及び期間が明記されたもの） ・審査結果通知用返信封筒（長形３号・切手362円分貼付すること） ・出身学校の規定等〔卒業要件（在学期間、授業科目、単位数）の記載されたもの及び卒業に必要な授業科目の授業内容が記載されたもの（シラバス等）〕 出願資格⑩により出願する場合は次の書類も提出すること。 ・研究歴や技術的・専門的職業についての職歴を有する場合、その期間及び従事した研究や職務の内容を証明するもの（様式任意、所属した機関の長が作成したものに限る。） 提出書類について不明な点がある場合は、必ず学務課医歯学大学院係に照会すること。
審　査　方　法	書類審査により実施します。
審査結果の発表	出願期間開始前までに出願資格審査結果通知書を送付します。 出願資格を認定された者は、出願手続きをしてください。
書類送付先及び問合せ先	鹿児島大学　医歯学総合研究科等学務課医歯学大学院係 〒８９０－８５４４　鹿児島市桜ヶ丘８丁目３５番１号 TEL　０９９－２７５－５１２０

※　出願資格に関する注意事項

①　社会人特別選抜に出願できる者は、「大学を卒業した者（本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者を含む。）で、入学時において教育研究機関、官公庁、企業等において現に職を有し、入学後もその身分を継続する者」とします。

②　外国人留学生特別選抜に出願できる者は、「外国籍を有する者」とします。

③　出願資格について不明な点は、平成２９年８月１日(火)までに学務課医歯学大学院係（電話：０９９－２７５－５１２０）へお問い合わせください。

３．選抜日程等

出 願 期 間	平成２９年　８月２１日(月）～平成２９年　８月３１日(木)
入 学 試 験	平成２９年　９月２２日(金)
合 格 者 発 表	平成２９年１０月　６日(金)　１０時(予定)
入学手続期間	平成２９年１０月１６日(月）～平成２９年１０月２０日(金)

※入学試験の結果、募集人員に満たない場合、追加募集を実施します。
追加募集実施の有無につきましては、平成２９年１０月下旬以降に本研究科ホームページ（http://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/examination.html）に掲載します。

４．出願手続

（１）出願書類等

出願書類等は一括し本学所定の出願用封筒を用いて、必ず書留郵便にて郵送してください。また、直接持参しても差し支えありません。

提出書類等		摘要
①	入学志願書	本要項添付の所定の用紙
②	写真票・受験票	本要項添付の用紙に、写真（縦４㎝×横３㎝、正面、上半身、無帽、無背景で出願前３か月以内に撮影したもの）を各１枚貼付。
③	卒業（見込）証明書	出身大学（学部）長が作成したもの。
④	成績証明書	出身大学（学部）長が作成し、厳封したもの。
⑤	研究志望書	本要項添付の用紙に、志望する研究テーマ、目的、動機、内容についてまとめたもの。
⑥	受入内諾書	本要項添付の用紙に、必要事項を記入し、志望する研究分野の予定指導教員に署名、押印をもらったもの。
⑦	検定料納付確認票（入学検定料）	本要項添付の所定様式により、最寄りの郵便局窓口で出願前までに、検定料30,000円を払い込み、その領収として受け取った「振替払込受付証明書（お客さま用）」を本要項添付の検定料納付確認票に貼付すること。なお、国費外国人留学生は納付の必要はありません。
⑧	返信用封筒(受験票送付用)	本要項添付の封筒に、志願者の住所、氏名、郵便番号を明記のうえ、切手（362円分）を貼付すること。
⑨	宛名シール（３連）	本要項添付の用紙に、住所、氏名、郵便番号を確実に記入すること。当学務課から出願者に連絡する場合に使用します。なお、３連は切り離さないでください。

③④について出願資格審査時に提出した者は不要です。

【該当者のみ必要とする出願書類】

提出書類等		提出該当者	摘要
⑩	受験及び就学に関する承諾書	現職者	現に学校、官公庁又は民間企業等に在職している者で現職のまま本学大学院に入学しようとする者は、本要項添付の用紙により所属長の承諾書を提出してください。
⑪	学位授与証明書又は学位申請受理証明書	出願資格②の該当者	大学改革支援・学位授与機構が証明したものを提出してください。
⑫	教育職員免許状授与証明書	出願資格⑧の該当者	免許状を授与された都道府県教育委員会が作成したものを提出してください。
⑬	住民票の写し又はパスポートの写し	外国人留学生の該当者	日本に在住する外国人は、市区町村の発行する「住民票の写し」（在留資格が記載されたもの）を、その他の者は、パスポートの写しを提出してください。
⑭	出願資格審査結果通知書（写）	出願資格⑨⑩の該当者	本学が発行した出願資格審査結果通知書の写し
⑮	英検、TOEIC、TOEFL等、英語の資格・検定試験の合格証書・スコアシート等の写し	英語の資格・検定試験の等級やスコアを所持する者	合格証書・スコアシートは有効期限内のものを提出してください。

※　日本語以外で書かれている書類については、必ず日本語の訳文を添付してください。

（２）出願期間

平成２９年　８月２１日（月）～　８月３１日（木）

（３）出願先

鹿児島大学　医歯学総合研究科等学務課医歯学大学院係

〒８９０－８５４４　鹿児島市桜ヶ丘８丁目３５番１号

電話　０９９－２７５－５１２０

（４）出願方法

①　本要項添付の封筒を使用し、持参又は書留郵便により出願してください。

②　直接持参する場合の受付時間は、９時から１６時までとします。
　ただし、土曜・日曜・祝日は受付・お問合せに応じることはできません。

③　郵送の場合は出願期間最終日の１７時必着とします。

《注》　出願期間後は一切受理しませんので、郵送による場合は郵送期間を十分に考慮して送付してください。

④　出願に際しては、あらかじめ志望する分野の指導教員（13～18頁「医科学専攻の研究指導教員一覧」を参照のこと。）に照会のうえ、「受入内諾書」を作成・提出してください。なお、「受入内諾書」はあくまでも合格した場合の受入を内諾するものであり、「受入内諾書」が志願者の合格を保証するものではありません。また、研究分野毎に学生の受入可能人数が異なりますので、11～12頁の「医科学専攻における研究分野と受入可能人数」で受入可能人数を確認願います。

５．入学者選抜試験場

鹿児島大学　医歯学総合研究科　桜ヶ丘共通教育棟

所在地：鹿児島市桜ヶ丘８丁目35番１号　　電話：099-275-5120

６．選抜方法

入学者の選抜は、学力検査、提出書類等により総合的に審査します。

（１）　学力検査

学力検査の試験科目と試験時間割は次のとおりです。

入学試験実施年月日：**平成２９年　９月２２日（金）**

選抜区分＼試験時間		9:30～10:30	11:15～12:15
一　般　選　抜		外国語（英語）	小　論　文
特別選抜	社　会　人	外国語（英語）	小　論　文
	外国人留学生	外国人用語学試験（英語又は日本語）	小　論　文（英語又は日本語）

※　外国語及び外国人用語学試験では、辞書の使用可。ただし、電子辞書は不可。
小論文試験では、辞書使用不可。

（２）　試験科目等

①　外国語試験（英語）

・　医科学領域に関わる分野の英語の文献を読解できる能力（英文和訳）を問います。

・　本試験においては、辞書の使用を認めます。ただし、電子辞書は除きます。

②　外国人用語学試験（日本語又は英語）

・　医科学領域に関する教育・研究を進めていくうえで必要な語学力を問います。

・　本試験においては、辞書の使用を認めます。ただし、電子辞書は除きます。

③　小論文試験

・　医科学領域の課題に対する知識、考え方等を問います。

※　外国語試験、外国人用語学試験及び小論文試験は「100点」満点で評価し、基準を満たしていない場合は、合格の対象となりません。

英検、TOEIC、TOEFL等の等級やスコアを所持し、一定以上の英語能力を有すると見なされる場合は、加点の対象となります。

合格者は、全受験者を総合得点順に並べ、基準点を満たした得点上位者から受験者の志望に応じて順次決定します。第２志望・第３志望がない場合は、第１志望のみで合否を判定し、第３志望がない場合は、第１志望・第２志望で合否を判定します。

７．出願及び受験にあたっての注意事項

(1)　出願書類に不備がある場合、受理しないことがあります。

(2)　あらかじめ志望する分野の指導教員（13～18頁「医科学専攻の研究指導教員一覧」を参照のこと。）に照会のうえ、出願してください。

(3)　出願手続後の提出書類の内容変更は認めません。ただし、連絡先の変更は、ただちに学務課まで届け出てください。また、一旦受理した出願書類等は返還しません。

(4)　提出書類の記載事項が事実に相違していることが判明した場合は、入学許可を取り消すことがあります。

(5)　本研究科へ入学を志願する者のうち、障がいを有する者で受験上及び就学上特別の配慮が必要と思われる場合は、出願期間前に学務課へ申し出てください。

(6)　改姓等により卒業証明書等の氏名が異なっている場合は、戸籍抄本を提出してください。

(7)　試験場への道順、交通機関等については、末尾ページに記載してありますので、試験前日までに試験場を確認してください。

　試験室及び注意事項等は、試験前日の１３時に本学医歯学総合研究科の掲示板（末尾ページの位置図で参照のこと）で案内します。ただし、その日は試験室内へ立ち入ることはできません。

(8)　受験者は、試験開始２０分前までに集合すること。試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後３０分以内の遅刻に限り、その科目等の受験を認めます。なお、遅刻の理由が交通機関の遅延・予定外の運休等の場合は、試験場本部に申し出てください。

(9)　試験当日は、必ず本研究科受験票を持参し提示してください。受験票を紛失したり、当日忘れた者は、試験実施の職員または学務課に申し出てください。

　試験場内での携帯電話、スマートフォン、通信機能付きの時計等、通信機能のある電子機器の使用は禁止します。もし、それらの機器を試験場内に持ち込む場合は、あらかじめ電源を切っておいてください。

　机の上に置けるものは、黒鉛筆、シャープペンシル（黒）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能だけのもの）です。なお、外国語試験においては、辞書（電子辞書は不可）も置けます。その他のものは、指定の場所に置いてください。

(10)　受験票及び受験案内（心得）等は、受付事務が終わり次第、出願者に送付します。

　万一、試験日の１週間前までに到着しないときは、学務課へ電話等で照会してください。

(11)　学生募集要項等に関し不明な点や質問がある場合には、学務課に照会してください。ただし、土曜・日曜・祝日は応じることはできません。

８．合格者発表

　平成２９年１０月　６日（金）１０時（予定）

合格者の発表は、鹿児島大学大学院医歯学総合研究科のホームページ

（http://www2.kufm.kagoshima-u.ac.jp/admission/examination.html の「合格者発表」を参照のこと。）に受験番号により掲示するとともに、合格者には合格通知書を郵送します。なお、電話、その他による個別の照会には一切応じません。

９．入学手続・授業料等学生納付金

合格者は、入学手続期間内に、入学手続きを行ってください。なお、入学手続の詳細は、合格通知と同時に送付します。

(1)　入学手続期間　　平成２９年１０月１６日（月）～平成２９年１０月２０日（金）

　※　入学手続期間内に入学の手続きを行わなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

(2)　提出書類　本学所定の書類（合格通知と同時に発送します。）
(3)　納付金（国費外国人留学生を除きます。）
①　入学料　　282,000円
②　授業料（前期分）　267,900円　（平成29年度参考）
（年額）　535,800円
（注）納付金等については、入学手続の際に別途詳細をお知らせいたします。

10. 入試情報の公開・開示

入試情報の公開・開示は次により学務課で行います。（受験票を持参ください。）
(1)　志願者数、受験者数、合格者数、入学辞退者数および入学者数の公開
①　志願者数、受験者数は試験終了後、合格者数は合格発表後に公開します。
②　入学辞退者数、入学者数は平成３０年４月１日以降に公開します。
(2)　試験問題、正解・解答例の開示
請求に基づき試験問題は試験終了後、正解・解答例は合格発表後に開示します。
(3)　入試成績に関する個人情報の開示
①　受験者本人からの請求に基づき、各試験科目の得点、合否の別を書面により開示します。
②　入試成績の開示は、当該年度の入試に限り開示し、開示時期は合格発表後２か月間とします。
③　遠隔地等の理由により来学が困難な場合は、学務課にお問合せください。

11.「職業実践力育成プログラム」（BP）及び「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）」について

高度メディカル専門職コースについては、平成２９年４月より、文部科学省「職業実践力育成プログラム」（ＢＰ）及び厚生労働省「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付）」対象講座の認定を受けました。詳しくは９ページをご覧ください。

◆問合せ先

鹿児島大学　医歯学総合研究科等学務課医歯学大学院係
〒８９０－８５４４　鹿児島市桜ヶ丘８丁目３５番１号
電話　０９９－２７５－５１２０

医歯学総合研究科医科学専攻案内

１．専攻及び取得学位

課程・修業年限	専　　攻	取得できる学位
修士課程（２年）	医　科　学	修　士（医科学）

２．修了要件及び履修方法

医科学専攻において、２年以上在学し、所要科目３０単位（必修科目１９単位及び選択必修科目１１単位）以上を修得し、修士論文審査に合格すること。

３．大学院設置基準第１４条による教育特例

大学院設置基準第１４条に定める教育方法の特例の実施について、特例の趣旨を積極的に活用し、大学院教育の道を医療社会人等に開くとともに、大学院の水準を維持することにも留意し、この教育方法の特例を実施します。

この特例の実施によって、社会人に対して近代医科学に関する再教育を受ける機会、更に高度な研究能力・知識を習得する機会を与えることを目的とします。

社会人への便宜を図るため、選択科目については特例による授業時間帯を設けることができます。ただし、実習については、受入部署と協議して決定するため、指定する期日（夏季休業等の期間中を含む。）に実施する場合があります。

時　限	授　業　時　間	備　　考
1 2 3 4 5	9:00　～　10:30 10:40　～　12:10 13:00　～　14:30 14:40　～　16:10 16:20　～　17:50	通常の授業時間帯
6 7	18:00　～　19:30 19:40　～　21:10	特例による授業時間帯

４．奨学金制度

日本学生支援機構には、学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため就学困難であると認められる者に対し、奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は、平成２８年度実績で、

第１種（無利子貸与）月額50,000円又は88,000円（修士・博士前期課程）
月額80,000円又は122,000円
（博士後期課程、博士医・歯・獣医学課程）

第２種（有利子貸与）月額50,000、80,000、100,000、130,000、150,000円の５種類から選択

この奨学金は、本人の申請に基づき、学業成績、研究能力及び家族の経済的諸事情を審査し、選考の上、適格者を日本学生支援機構に推薦し、決定されるものです。

５．各コースの概要

医科学専攻に入学後「先端バイオサイエンスコース」と「高度メディカル専門職コース」のいずれかのコースを選択していただくことになりますが、以下に各コースの概要を説明いたします。

(1)　先端バイオサイエンスコース

このコースでは、修士課程修了後に博士課程への進学を考えていて、将来的には医科学研究者を目指す学生を主な対象とし、生命科学全般にわたる考え方・知識の向上及び先端研究技術の修得に重点を置いた教育指導を行います。なお、博士課程への進学を考えていない方でも、このコースを選択することは可能です。

先端研究技術は、「バイオサイエンス実習」という科目で、組織学、生理学、薬理学、統計学の基礎的技術に加えて、DNA・RNA研究や蛋白・酵素研究の先端的技術が修得できます。

また、選択必修科目として開講している「脳科学」「英語で学ぶ生命科学」「分子薬理学・創薬科学」「再生・先端医療学」「宇宙環境医学概論」等で早期から医科学研究に対する考え方、知識及び技術が修得できるとともに、研究の質及び量の向上が図れます。

さらに、高い能力のある学生には、より高度な実習を含む博士課程の授業科目が履修できます。博士課程授業科目の履修については、２年次へ進級する際に皆さんの指導教員が面接を行い、医科学研究に対する意欲、生命科学研究に関する能力を判定します。

受講した博士課程授業科目は、修士課程在籍時には「自由科目」となり、修了単位にはカウントされませんが、博士課程に進学した場合には履修した博士課程科目を博士課程で単位認定することが可能であり、博士課程進学後には多くの時間を研究に充てることにより早期の論文完成をめざすことができます。

本コースで開設する授業科目については、19ページを参照願います。

(2)　高度メディカル専門職コース

このコースでは､メディカルスタッフ等の高度専門職を志向する社会人学生を主な対象とし、本コース修了後に地域の中核医療機関のそれぞれの部門で、専門的な知識や修士課程で学んだ考え方などを背景に、指導的な立場で若い人材に刺激を与え、チームリーダーとして活躍し、医師を含めた他の領域のスタッフとも協調して現場に応じたテーマで研究を継続し、中核医療機関としての役割を果たせるような人材育成をめざしています。なお、メディカルスタッフ等の高度専門職を志向する社会人学生以外の方でも、このコースを選択することは可能です。また、本コース修了後に博士課程へ進学することも可能です。

本コースでは、先端バイオサイエンスコースで開講している「バイオサイエンス実習」を、医学・医療に直接関連するよう、より専門職志向に適合した内容に改めた「高度メディカル実習」を開講します。

また、選択科目として開講している「高度医療学研究」「医療情報・医療情報管理・医療経済学」「臨床薬剤学概論」「医科栄養学」「臨床病態学」「医学生物学データ解析演習」等で、高度な専門職としての医療人の育成を目指した理論を学ぶことができます。

本コースで開設する授業科目については、20ページを参照願います。

【社会人のスキルアップを支援する教育プログラムの認定について】

高度メディカル専門職コースは、大学において社会人や企業等のニーズに応じた実践的・専門的な教育を提供するプログラムとして、文部科学大臣から、「職業実践力育成プログラム」(BP) の認定を受けました。

また、厚生労働大臣からは、「教育訓練給付制度（専門実践教育訓練給付)」の対象講座として指定を受けました。「教育訓練給付制度」とは、労働者や離職者が、厚生労働大臣が指定する教育訓

練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険に基づく給付制度です。

※支給対象・給付額・受講要件等の詳細については、厚生労働省のホームページまたはお近くのハローワークでご確認ください。

（注：以上の認定は平成２９年４月以降適用されます。）

医科学専攻における研究分野と受入可能人数

平成29年6月

研 究 分 野	教 員 名	受入可能人数	
衛生学・健康増進医学	堀 内 正 久 教 授	3	
消化器疾患・生活習慣病学	井 戸 章 雄 教 授	2	
糖尿病・内分泌内科学	西 尾 善 彦 教 授	1	
疫学・予防医学	郡 山 千 早 教 授	2	
医療システム情報学	熊 本 一 朗 教 授	3	
法医学	小 片 守 教 授	1	
心身内科学	乾 明 夫 教 授	0	(注)1
歯科医学教育実践学	田 口 則 宏 教 授	1	
微生物学	西 順一郎 教 授	1	
免疫学	原 博 満 教 授	3	
抗ウイルス化学療法研究	馬 場 昌 範 教 授	0	
分子ウイルス感染研究	池 田 正 徳 教 授	2	
分子病理病態研究	久保田 龍 二 教 授	2	
血液・免疫疾患研究	石 塚 賢 治 教 授	1	
医化学	岸 田 昭 世 教 授	1	
生殖病態生理学	小 林 裕 明 教 授	0	
小児外科学	家 入 里 志 教 授	0	
口腔生化学	松 口 徹 也 教 授	2	
口腔微生物学	小松澤 均 教 授	2	
予防歯科学	於 保 孝 彦 教 授	1	
歯科矯正学	宮 脇 正 一 教 授	1	
小児歯科学	山 﨑 要 一 教 授	0	(注)2
国際離島医療学	嶽 﨑 俊 郎 教 授	1	
地域医療学	大 脇 哲 洋 教 授	0	
宇宙環境医学	馬 嶋 秀 行 教 授	2	
形態科学	柴 田 昌 宏 教 授	1	
神経筋生理学	(選考中)	0	
神経内科・老年病学	髙 嶋 博 教 授	1	
歯科機能形態学	後 藤 哲 哉 教 授	2	
解剖法歯学	田 松 裕 一 教 授	2	
眼科学	坂 本 泰 二 教 授	5	
遺伝子治療・再生医学	小 戝 健一郎 教 授	5	
整形外科学	小 宮 節 郎 教 授	2	
リハビリテーション医学	下堂薗 恵 教 授	1	
血管代謝病態解析学	橋 口 照 人 教 授	5	
心臓血管・高血圧内科学	大 石 充 教 授	5	
呼吸器内科学	井 上 博 雅 教 授	1	
統合分子生理学	桑 木 共 之 教 授	4	
生化学・分子生物学	小 澤 政 之 教 授	0	
生体情報薬理学	宮 田 篤 郎 教 授 宮 本 篤 教 授	2	

研 究 分 野	教 員 名	受入可能人数
救急・集中治療医学	垣 花 泰 之 教 授	2
薬物動態制御学	武 田 泰 生 教 授	2
歯科応用薬理学	佐 藤 友 昭 教 授	2
口腔生理学	齋 藤 充 教 授	0
歯科生体材料学	菊 地 聖 史 教 授	1
咬合機能補綴学	南 弘 之 教 授	1
口腔顎顔面補綴学(有床義歯補綴学)	西 村 正 宏 教 授	2
歯科保存学	西 谷 佳 浩 教 授	2
顎顔面疾患制御学	杉 浦 剛 教 授	若干人
病理学	谷 本 昭 英 教 授	1
放射線診断治療学	吉 浦 敬 教 授	0
消化器・乳腺甲状腺外科学	夏 越 祥 次 教 授	1
分子腫瘍学	古 川 龍 彦 教 授	1
顎顔面放射線学	馬 嶋 秀 行 教 授	2
癌・再生医療学	松 原 修一郎 准教授	2
臓器置換・異種移植外科学	山 田 和 彦 教 授	2
遺伝子発現制御学	佐 藤 正 宏 教 授	2
総合救命救急医学	川 﨑 孝 一 客員教授	1
	時 村 洋 客員教授	
総合成育医療学	鮫 島 幸 二 客員教授	1
	茨 聡 客員教授	
総合がん診療医学	濵 田 信 男 客員教授	1
	堀 剛 客員教授	
総合診療医学	濱 崎 修 一 客員教授	1
	池 田 賢 一 客員准教授	

(注)1. 心身内科学分野にあっては、社会人の受け入れは行っておりません。

(注)2. 小児歯科学分野では、日本小児歯科学会認定歯科衛生士を目指される方の入学を希望します。

(注)3. 平成30年度募集で学生の受入を行わない研究分野にあっては、受入可能人数を「0」としております。

(注)4. 指導教員が退職異動等により指導の継続ができなくなる場合には、他の教員に代わる場合もあります。

医科学専攻（修士課程）の研究指導教員一覧

平成29年６月１日現在

※連絡先　市外局番：099-、e-mail address：(kufm、dent で終わるものには) それぞれ kagoshima-u.ac.jp をつける

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【衛生学・健康増進医学】 堀内　正久　教授 TEL：275-5289 masakun@m.kufm.	①　産業保健 ②　健康科学：食の生体影響 ③　健康障害における遺伝と環境
川口　博明　准教授 TEL：275-5291 k3038952@kadai.jp	①　マイクロミニピッグの実験動物としての開発：病態モデルの開発 ②　中毒学：毒性病理学 ③　実験病理学
【消化器疾患・生活習慣病学】 井戸　章雄　教授 TEL：275-5323 ido-akio@m2.kufm.	①　難治性消化器疾患・腎疾患の病態解明と新規治療法開発 ②　消化器癌の発癌の分子機構の解明 ③　生活習慣と消化器・腎疾患 ④　ゲノミクス・プロテオミクス解析を用いた先端的研究
【糖尿病・内分泌内科学】 西尾　善彦　教授 TEL：275-6478 ynishio@m3.kufm.	①　ω3不飽和脂肪酸の代謝作用 ②　栄養素による遺伝子発現調節作用
【疫学・予防医学】 郡山　千早　教授 TEL：275-5295 fiy@m.kufm	①　地域保健 ②　がんの疫学 ③　喫煙の健康影響
【医療システム情報学】 熊本　一朗　教授 TEL：275-5175 kuma@m.kufm.	①　医療情報学 ②　医療管理学 ③　病院情報システム ④　医療経済学
【法医学】 小片　守　教授 TEL：275-5309 ogatam@m.kufm.	①　死因解析 ②　頭部外傷の法医学的診断 ③　虐待が身体機能に及ぼす影響 ④　免疫血液学 ⑤　DNA 多型の法医学的応用 ⑥　法医中毒学
【心身内科学】 乾　明夫　教授 TEL：275-5748 inui@m.kufm.	①　食欲・体重調節機構に関する研究 ②　脳腸ペプチドと消化管機能、脳腸受容体に関する研究 ③　摂食障害、食行動とその異常に関する研究 ④　肥満症及び癌性悪液質の成因と治療に関する研究 ⑤　漢方の先端的研究と臨床 ⑥　脳腸ペプチド自己抗体に関する研究 ⑦　緩和医療の臨床研究
【歯科医学教育実践学】 田口　則宏　教授 TEL：275-6587 ntaguchi@dent.	①　歯科医学教育におけるカリキュラム開発 ②　効果的な臨床能力修得法の開発 ③　効果的な臨床能力評価法の開発
【微生物学】 西　順一郎　教授 TEL：275-5276 nishi1@m2.kufm.	①　下痢原性大腸菌の分子疫学研究 ②　腸管凝集性大腸菌の病原因子と薬剤耐性の研究 ③　MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）の分子疫学研究 ④　ワクチンの有効性に関する研究
吉家　清貴　准教授 TEL：275-5276 yoshiie@m.kufm.	①　環境中薬剤耐性細菌の比較解析研究 ②　環境細菌と病原細菌間の薬剤耐性遺伝子の伝播研究
大岡　唯祐　講師 TEL：275-5276 taohoka1@m.kufm.	①　病原細菌の分子疫学研究 ②　病原細菌のゲノム及びゲノム比較解析研究 ③　新興病原菌 *Escherichia albertii* の病原機構研究 ④　病原因子の水平伝播機構研究
【免疫学】 原　博満　教授 TEL：275-5302 harah@m2.kufm.	①　感染症における免疫応答の分子メカニズム ②　アレルギー疾患における免疫応答の分子メカニズム ③　慢性疼痛発症における免疫制御の分子メカニズム ④　リンパ腫発症に関わる抗原受容体シグナル伝達経路の分子メカニズム ⑤　認知症における免疫制御の分子メカニズム

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【抗ウイルス化学療法研究】 馬場　昌範　教授 TEL：275-5930 m-baba@m2.kufm.	①　AIDS の病態と治療法に関する研究 ②　抗ウイルス薬の同定と開発に関する基礎的研究 ③　成人 T 細胞白血病に対する治療法に関する研究
【分子ウイルス感染研究】 池田　正徳　教授 TEL：275-5935 maikeda@m3.kufm.	①　分子ウイルス学 ②　発がん関連ウイルス ③　ウイルス宿主相互作用
【分子病理病態研究】 久保田　龍二　教授 TEL：275-5941 kubotar@m2.kufm.	①　HTLV-I 関連疾患の発症機序の解明 ②　HTLV-I 関連疾患の治療法の開発 ③　HTLV-I キャリアーの長期追跡
【血液・免疫疾患研究】 石塚　賢治　教授 TEL：275-5945 kenji-i@m.kufm.	①　成人 T 細胞白血病・リンパ腫の新規治療開発 ②　成人 T 細胞白血病・リンパ腫に対する同種造血幹細胞移植を含む細胞療法 ③　HTLV-1キャリア、成人 T 細胞白血病・リンパ腫患者の共抑制 T 細胞受容体の役割の検討 ④　レンチウイルスベクターを用いた遺伝子治療
【医化学】 岸田　昭世　教授 TEL：275-5239 shosei@m2.kufm.	①　病態生理と関連したシグナル伝達機構の解析 ②　分子間相互作用によるシグナル伝達の制御機構 ③　神経伝達物質放出の制御機構
【生殖病態生理学】 小林　裕明　教授 TEL：275-5421 hirokoba@m2.kufm.	①　子宮頸がん妊孕性温存手術 ②　センチネルリンパ節ナビゲーションサージャリー ③　子宮がんロボット手術 ④　腫瘍選択性ポリマー混合ナノメディシン抗がん剤 ⑤　HBOC 関連リスク低減手術
【小児外科学】 家入　里志　教授 TEL：275-5442 sieiri@m.kufm. 加治　　建　准教授 TEL：275-5442 tatu@m2.kufm.	①　消化管運動機能異常の病態生理 ②　排便障害の治療法の開発 ③　小児の栄養管理 ④　新生児外科的疾患のモデル作製と病態解明 ⑤　腸管不全の病態解明と治療法の開発 ⑥　内視鏡外科手術の教育訓練方法の研究
【口腔生化学】 松口　徹也　教授 TEL：275-6131 tmatsugu@dent.	①　免疫細胞のシグナル伝達機構 ②　骨代謝調節の分子機構 ③　細胞のメカニカルストレス反応性 ④　体性幹細胞の分化メカニズム
【口腔微生物学】 小松澤　均　教授 TEL：275-6150 hkomatsu@dent. 松尾　美樹　准教授 TEL：275-6152 mmatsuo@dent.	①　黄色ブドウ球菌の薬剤耐性、病原性発現機構 ②　歯周病原因菌の病原性因子 ③　病原性細菌と上皮細胞との相互作用 ④　う蝕予防剤の探索 ⑤　院内感染原因菌の分子疫学解析 ⑥　口腔内常在細菌叢解析
【予防歯科学】 於保　孝彦　教授 TEL：275-6180 oho@dent.	①　口腔細菌と唾液タンパク質の相互作用の解明 ②　口腔細菌による全身疾患誘発機序の解明 ③　口臭予防に関する基礎的研究 ④　口腔ケアによる全身状態の改善 ⑤　口腔と全身の状態についての疫学的研究
【歯科矯正学】 宮脇　正一　教授 TEL：275-6252 miyawaki@dent.	①　睡眠障害，睡眠時ブラキシズムおよび胃食道逆流に関する研究 ②　口腔と上部消化管の機能的関連に関する研究 ③　スケレタルアンカレッジ関連装置の開発 ④　顎口腔機能と心身機能の発達と障害に関する研究 ⑤　顎発育と咬合育成に関する研究 ⑥　顎関節症に関する研究 ⑦　機械的刺激と骨改造および細胞受容機構に関する研究 ⑧　ブラキシズムに関するモデル動物を用いた研究

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【小児歯科学】 山﨑　要一　教授 TEL：275-6260 yamasaki@dent.	①　小児歯科学研究全般 ②　障害児・者の口腔ケア ③　障害児・者の摂食嚥下支援 ※日本小児歯科学会の認定歯科衛生士をめざす方を歓迎します。
【国際島嶼医療学】 嶽﨑　俊郎　教授 TEL：275-6851 takezaki@m.kufm.	①　生活習慣予防に関するフィールド研究 ②　分子疫学研究
【地域医療学】 大脇　哲洋　教授 TEL：275-6898 towaki@m2.kufm.	①　地域医療の現状と医療政策 ②　地域医療教育の内容と施行方策 ③　地域医療臨床研究
【形態科学】 柴田　昌宏　教授 TEL：275-5210 mshiba@m2.kufm.	①　組織細胞化学に関する研究
【神経筋生理学】 徐　建軍　講師 TEL：275-5234 jjxuk@m3.kufm. 蓑部　悦子　講師 TEL：275-5234 mimiben@m3.kufm.	①　Ca チャネルの電気生理学、生化学 ②　神経、筋細胞のイオンチャネルの構造と機能 ③　神経筋疾患のイオンチャネル異常の解析 ④　イオンチャネルに作用する薬物と毒物
【神経内科・老年病学】 髙嶋　博　教授 TEL：275-5330 thiroshi@m3.kufm.	①　遺伝性神経疾患の研究（脊髄小脳変性症、CMT、筋ジストロフィー、ミトコンドリア病など） ②　神経・筋疾患の病態解明に関する研究 ③　免疫性神経疾患、自己免疫性脳炎の病態解明 ④　認知症の病態および治療に関する研究 ⑤　中枢神経感染症の迅速診断システムの開発（古細菌、細菌、ウイルスなど）
【歯科機能形態学】 後藤　哲哉　教授 TEL：275-6100 tgoto@dent.	①　生体材料の生物親和性に関する研究 ②　神経による骨代謝調節機構の解明 ③　口腔感覚の脳内神経回路の解明 ④　歯の形態形成の探索
【解剖法歯学】 田松　裕一　教授 TEL：275-6112 tamatsu@dent.	①　口腔顎顔面領域の臨床解剖学 ②　顎骨の形態解析と生体力学 ③　心臓の栄養血管の形態学的研究 ④　生殖器脈管の形態学的研究 ⑤　歯科的個人識別に関する研究
【眼科学】 坂本　泰二　教授 TEL：275-5402 tsakamot@m3.kufm.	①　網膜手術（外科網膜） ②　糖尿病網膜症 ③　網膜細胞生物学 ④　画像解析
【遺伝子治療・再生医学】 小戝　健一郎　教授 TEL：275-5219 kosai@m2.kufm.	①　革新的な癌への遺伝子・ウイルス治療の独自開発と実用化に繋がる医師主導治験 ②　難治性疾患への新規遺伝子治療の開発 ③　増殖因子 HB-EGF による生体内再生医薬の開発と関連分子機構の解明 ④　ES・iPS 細胞での再生医療の腫瘍化を阻止するウイルスベクター技術の開発 ⑤　ダイレクトリプログラミングによる新規再生医療の開発 ⑥　エピジェネティック遺伝子の新規機能の解明
【整形外科学】 小宮　節郎　教授 TEL：275-5381 skomiya@m3.kufm.	①　脊髄損傷の再生医療研究 ②　骨・軟部腫瘍の分子標的治療研究 ③　肉腫・転移性骨癌への遺伝子治療 ④　骨代謝の研究 ⑤　軟骨代謝の研究 ⑥　股関節・脊椎医療のバイオメカニクス

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【リハビリテーション医学】 下堂薗　恵　教授 TEL：0995-78-2538 rihakoza@m2.kufm.	①　片麻痺・感覚障害（身体覚・視覚）に対するリハビリロボット治療や促通反復法、rTMS、tDCS を併用した治療法の開発 ②　高次脳機能障害の臨床と研究 ③　脳損傷後機能回復の分子生物学的研究 ④　神経因性膀胱の基礎研究と臨床応用 ⑤　温泉や薬剤を用いたリハビリテーション効果促進の研究 ⑥　脳機能画像（fMRI, NIRS, MEG）とリハビリテーション
【血管代謝病態解析学】 橋口　照人　教授 TEL：275-5437 terutoha@m3.kufm.	①　臨床検査医学 ②　血栓性・出血性疾患の分子病態解析 ③　血管・リンパ管新生の分子細胞機構解析 ④　ＨＩＶ感染症の臨床病態解析
【心臓血管・高血圧内科学】 大石　　充　教授 TEL：275-5316 ohishi@m2.kufm.	①　心不全に関する研究 ②　虚血性心疾患に関する研究 ③　不整脈に関する研究 ④　心筋症に関する研究 ⑤　動脈硬化に関する研究 ⑥　高血圧に関する研究 ⑦　肺高血圧に関する研究 ⑧　循環器画像に関する研究 ⑨　運動生理に関する研究 ⑩　性差医療に関する研究
【呼吸器内科学】 井上　博雅　教授 TEL：275-6481 inoue-pulm@umin.net	①　難治性炎症性肺疾患（難治性喘息・急性肺傷害・肺線維症・COPD）の病態解析と新規治療法の開発 ②　間質性肺疾患の新規バイオマーカーの開発 ③　肺癌化学療法における抗癌剤薬物動態 ④　閉塞性肺疾患における呼吸器作動薬の効果・副作用に関する研究
【統合分子生理学】 桑木　共之　教授 TEL：275-5227 kuwaki@m3.kufm. 柏谷　英樹　講師 TEL：275-5225 danny@m3.kufm.	①　ストレス緩和・自律神経調節の脳科学 ②　アロマテラピーの脳科学 ③　味覚・食欲の脳科学 ④　ストレス・情動の脳科学
【生化学・分子生物学】 小澤　政之　教授 TEL：275-5928 mozawa@m.kufm.	①　細胞機能の分子細胞生物学 ②　細胞接着分子の制御機構と癌細胞転移 ③　形態形成の分子機構
【生体情報薬理学】 宮田　篤郎　教授 TEL：275-5256 amiyata@m3.kufm.	①　生体内情報伝達の分子薬理学・生化学 ②　新規生理活性物質の探索と解析 ③　痛覚伝達に関する神経薬理学的研究 ④　炎症・摂食調整・機能性食品に関する研究 ⑤　精神神経疾患とミトコンドリア障害に関する研究
宮本　　篤　教授 TEL：285-8719 k133097@kadai.jp	①　脳血液循環の調節に関する研究 ②　マグネシウムの循環器における役割に関する研究 ③　循環器に影響を及ぼす機能性野菜の探索と機序の解明
【救急・集中治療医学】 垣花　泰之　教授 TEL：275-5646 kakihana@m3.kufm.	①　敗血症性ショックの病態解明 ②　光を用いた無侵襲酸素化状態モニタリングの開発 ③　臓器障害メカニズムの解明
【薬物動態制御学】 武田　泰生　教授 TEL：275-5543 takeda@m.kufm.	①　薬物相互作用に関する研究 ②　薬剤耐性機構に関する研究 ③　神経回路網形成および高次脳機能発現の分子機構に関する研究 ④　薬物動態学理論に基づいた抗菌薬の投与量設計に関する研究 ⑤　難治性悪性腫瘍に対する新規抗がん剤の開発に関する研究
【歯科応用薬理学】 佐藤　友昭　教授 TEL：275-6160 tomsato@dent	①　神経化学伝達物質の遊離調整機構 ②　細胞障害と学習・記憶に関する研究 ③　生体酸化と老化の関連性に関する研究 ④　口腔内カンジダ症と抗真菌薬に関する研究 ⑤　歯牙喪失・ホルモンバランス・記憶との関連に関する研究 ⑥　破骨細胞の極性に関する研究

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【口腔生理学】 齋藤　充　教授 TEL：275-6120 mtrsaito@dent.	①　咬合・咀嚼運動の制御に関わる神経機構 ②　咬合・咀嚼機能不全が高次脳機能低下を招く神経機構 ③　味覚の末梢受容機構および中枢機構 ④　味覚の発達および老化の機序 ⑤　口腔内の一般感覚および痛覚の受容機構
【歯科生体材料学】 菊地　聖史　教授 TEL：275-6170 kikuchi@dent. 河野　博史　講師 TEL：275-6174 hiro164@dent.	①　歯科 CAD/CAM システムの開発 ②　金属バイオマテリアルの開発と評価 ③　セラミックバイオマテリアルの開発と評価
【咬合機能補綴学】 南　弘之　教授 TEL：275-6212 minami@dent.	①　コンポジットレジンの接着 ②　コンポジットクラウンの耐久性 ③　築造体、歯冠修復物の予後調査
【口腔顎顔面補綴学】 西村　正宏　教授 TEL：275-6220 mnishi@dent.	①　間葉系幹細胞による顎骨再生研究 ②　顎顔面骨増生のためのトランスレーショナルリサーチ ③　補綴治療の材料・設計・維持・管理方法 ④　顎欠損患者の機能回復とその維持方法
【歯科保存学】 西谷　佳浩　教授 TEL：275-6192 nishi@dent.	①　歯質と修復用レジンの接着 ②　象牙質再生療法の開発 ③　新規修復材料及び根管充填剤の開発 ④　歯髄・象牙質の細胞生物学的研究
【顎顔面疾患制御学】 杉浦　剛　教授 TEL：275-6232 sugiura@dent.	①　口腔癌の早期発見法の開発 ②　口腔癌幹細胞を標的とした治療法の開発 ③　口腔感染症の病態と予防に関する研究 ④　口腔癌患者の口腔ケアに関する研究 ⑤　口腔疾患に対する漢方の効果に関する研究 ⑥　周術期口腔管理に関する研究 ⑦　摂食嚥下に関する研究
【病理学】 谷本　昭英　教授 TEL：275-5263 akit09@m3.kufm.	①　血管細胞生物学、動脈硬化の分子病理学 ②　ヒト乳腺疾患の分子病理学 ③　病理診断学（とくに乳腺病理、小児病理、肺病理） ④　ヒト癌におけるムチン遺伝子発現の意義
【放射線診断治療学】 吉浦　敬　教授 TEL：275-5417 yoshiura@m3.kufm.	①　MRI による脳機能イメージングに関する研究 ②　CT による組織の成分分析に関する研究 ③　機能画像に基づく高精度放射線治療に関する研究
【消化器・乳腺甲状腺外科学】 夏越　祥次　教授 TEL：275-5358 natsugoe@m2.kufm.	①　癌の病態と治療に関する基礎的臨床的研究 ②　消化器外科一般に関する基礎的臨床的研究 ③　肝胆膵外科一般に関する基礎的臨床的研究 ④　内分泌外科一般に関する基礎的臨床的研究
【分子腫瘍学】 古川　龍彦　教授 TEL：275-5488 furukawa@m3.kufm.	①　新規癌治療標的分子の同定と治療薬探索 ②　癌微小環境の解析とその制御 ③　抗癌剤耐性機構とその克服 ④　輸送体蛋白質の研究
【顎顔面放射線学】 馬嶋　秀行　教授 TEL：275-6270 hmajima@dent. 犬童　寛子　准教授 TEL：275-6274 hindoh@dent. 末永　重明　講師 TEL：275-6274 suenaga@dent. 松本　邦史　講師 TEL：275-6274 kmatsumoto@dent.	①　腫瘍治療を目指した放射線生物・分子生物学的研究 ②　ミトコンドリア関連細胞死研究及び活性酸素と疾患に関する研究 ③　老化、神経障害等の酸化ストレス関連疾患の機序解明

指　導　教　員	主　な　研　究　内　容
【宇宙環境医学】 馬嶋　秀行　教授 TEL：275-6270 hmajima@dent. 犬童　寛子　准教授 TEL：275-6272 hindoh@dent. 面髙　俊宏　特任教授 TEL：285-8973 omodaka@sci. 半田　利弘　教授 TEL：285-8967 handa@sci. 高桑　繁久　教授 TEL：285-8961 takakuwa@sci. 中西　裕之　准教授 TEL：285-8963 hnakanis@sci. 今井　　裕　准教授 TEL：285-8085 hiroimai@sci. （学外教員） 石岡　憲昭　客員教授 TEL：275-6270 ishioka.noriaki@jaxa.jp 東端　　晃　客員教授 TEL：275-6272 higashibata.akira@jaxa.jp	①　宇宙環境のリスクに関する放射線生物・分子生物学的研究 ②　宇宙における酸化ストレス発現研究 ③　宇宙における骨・筋代謝変化研究 ④　宇宙飛行士の健康管理研究
【癌・再生医療学】 松原　修一郎　准教授 TEL：275-6357 shmlmcbd@m.kufm.	①　がん幹細胞の特性：分子生物学的解析 ②　がん幹細胞を標的とした新規治療法の開発研究 ③　癌の浸潤転移機構の解明と制御：がん幹細胞の役割 ④　ミニブタを用いた新しい鏡視下手術療法の開発
【臓器置換・異種移植外科学】 山田　和彦　教授 TEL：275－5496 kyyamada@m2.kufm. 佐原　寿史　准教授 TEL：275-5496 sahara@m2.kufm.	①　先端臓器置換戦略の開発 ②　遺伝子改変先進医用ミニブタを用いたトランスレーショナルリサーチ ③　移植免疫学および移植分子生物学の修得 ④　先進医用ミニブタの iPS 細胞を用いた組織バンクの構築 ⑤　世界最先端異種移植戦略の開発
【遺伝子発現制御学】 佐藤　正宏　教授 TEL：275－5246 masasato@m.kufm	①　遺伝子改変ノックアウトブタの開発 ②　マウスを用いた生体内臓器・生殖細胞への遺伝子導入法の開発 ③　ブタ細胞を用いた新規遺伝子工学技術の開発
【総合救命救急医学】 川﨑　孝一　客員教授 時村　　洋　客員教授	①　救命救急医療における脳血管疾患に関する研究 ②　脳血管疾患に対する血管内治療に関する研究 ③　ショックの病態と治療に関する研究 ④　虚血再灌流障害に関する研究
【総合成育医療学】 鮫島　幸二　客員教授 茨　　聡　客員教授	①　小児救急医療に関する研究 ②　川崎病の病態と治療に関する研究 ③　小児保健に関する研究 ④　周産期医療に関する研究 ⑤　新生児医療に関する研究
【総合がん診療医学】 濵田　信男　客員教授 堀　　剛　客員教授	①　がん発生の背景因子に関する研究 ②　がんの早期診断に関する研究 ③　がん治療の最適化に関する研究 ④　がん化学療法の有効性・安全性に関する研究
【総合診療医学】 濱崎　秀一　客員教授 池田　賢一　客員准教授	①　総合診療における循環器疾患に関する研究 ②　加齢に係る虚血性心疾患の予防医学に関する研究 ③　総合診療における感染症に関する研究 ④　加齢と免疫に関する研究

授業科目一覧（修士課程）

(1) 先端バイオサイエンスコース

※授業科目及び開講時期は、都合により変更される場合があります。

授業科目	単位数			１年次		２年次		履修方法
	必修	選択必修	自由	前期	後期	前期	後期	
人体の構造と機能	2			○				(必修科目) 各授業科目を履修し計19単位を修得する。 優れた業績を上げた者の医科学論及び医科学研究（A）は、修了時までに修得できるものとする。
ゲノム医学	2			○				
疾病論・病因論	2			○				
バイオサイエンス実習	3			○				
生命医療倫理学	2				○			
医科学論	2			①	①			
医科学研究（A）	6			②	④			
必修科目　合計	１９							
医科栄養学		2		○				(選択必修科目) 選択必修科目から11単位以上を修得すること。 先端医科学研究は1～2年次に開講される中から合計5単位を修得すること。 ※「脳科学」については１年次前期、２年次前期のいずれでも受講可
英語で学ぶ生命科学		2		○				
分子薬理学・創薬科学		2			○			
環境と健康・安全		2			○			
再生・先端医療学		2			○			
宇宙環境医学概論		2			○			
医学生物学データ解析演習		1			○			
脳科学		2		○		○		
感染と生体防御		2				○		
先端医科学研究		5		②	③	②	③	
高度メディカル実習			3		○			(自由科目)
人体解剖実習			1		○			
臨床病態学			2			○		
離島医療学			2			○		
臨床薬剤学概論			2			○		
医療情報・医療情報管理・医療経済学			2			○		
インターンシップ			2	不　定　期				

注）①，②，③，④は○が開講期で数字が単位数を表す。

(2) 高度メディカル専門職コース

※授業科目及び開講時期は、都合により変更される場合があります。

授業科目	単位数			1年次		2年次		履修方法
	必修	選択必修	自由	前期	後期	前期	後期	
人体の構造と機能	2			○				(必修科目) 各授業科目を履修し計19単位を修得する。 優れた業績を上げた者の医科学論及び医科学研究(B)は、修了時までに修得できるものとする。
ゲノム医学	2			○				
疾病論・病因論	2			○				
高度メディカル実習	3				○			
生命医療倫理学	2				○			
医科学論	2			①	①			
医科学研究(B)	6			②	④			
必修科目　合計	19							
医科栄養学		2		○				(選択必修科目) 選択必修科目から11単位以上を修得すること。 高度医療学研究は1～2年次に開講される中から合計5単位を修得すること。
環境と健康・安全		2			○			
医学生物学データ解析演習		1			○			
臨床病態学		2				○		
離島医療学		2				○		
臨床薬剤学概論		2				○		
医療情報・医療情報管理・医療経済学		2				○		
感染と生体防御		2				○		
高度医療学研究		5		②	③	②	③	
バイオサイエンス実習			3	○				(自由科目) ※「脳科学」については1年次前期、2年次前期のいずれでも受講可
英語で学ぶ生命科学			2	○				
分子薬理学・創薬科学			2		○			
再生・先端医療学			2		○			
宇宙環境医学概論			2		○			
人体解剖実習			1		○			
脳科学			2	○		○		
インターンシップ			2	不　定　期				

注)　①，②，③，④は○が開講期で数字が単位数を表す。

受験番号	※

平成　　年　　月入学
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学志願書

選抜区分	1．一般選抜　　2．社会人特別選抜　　3．外国人留学生特別選抜			
フリガナ 氏名			性別	男・女
生年月日	昭和 平成　　年　　月　　日	国籍 （外国人留学生特別選抜のみ記入）		

志望の研究分野	第一志望	第二志望	第三志望
予定指導教員名	第一志望	第二志望	第三志望

出願資格	大学	大学　　学部　　学科 昭和・平成　　年　　月　卒業・卒業見込
	大学改革支援・学位授与機構	学士の学位取得（平成　　年　　月）取得・取得見込 学士（　　学）
	その他	

医科学専攻に関係する免許取得年及び免許番号	免許の種類	取得年月　　（免許番号）
		昭和・平成　　年　　月（免許番号　　）
		昭和・平成　　年　　月（免許番号　　）
		昭和・平成　　年　　月（免許番号　　）

現住所 （合格通知書送付先）	〒（　　－　　）　　☎（　　）　　－
緊急連絡先 ※現住所以外	〒（　　－　　）　　☎（　　）　　－

（記入上の注意）1．※印欄には記入しないこと。
2．必要事項を記入し，該当事項を○で囲むこと。
3．「志望の研究分野」「予定指導教員名」欄は，複数の分野への志望がある場合のみ第２志望以下を記入すること。
4．関係する国家試験の免許を持っている出願者は，必ず記入のこと。
5．裏面（履歴事項）も記入すること。

【入学願書の裏面】

履　　歴　　書

学　　歴	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
職　　歴	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
	年　　月	
賞　　罰		

上記のとおり相違ありません。

平成　　年　　月　　日

氏　名　　㊞

（注）１．履歴事項はできるだけ詳細に記入すること。
２．高等学校から記入すること。ただし，外国人留学生については，小学校入学から記入すること。
３．学歴及び職歴の記入欄が不足する場合は，それぞれに適宜用紙を付け足して記入してください。

平成　　年　　月入学
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）写真票

受験番号	※			
選抜区分	1 一般選抜　2 社会人特別選抜　3 外国人留学生特別選抜			
志望の研究分野（希望する予定指導教員名）	第１志望	第２志望	第３志望	
	（　　）	（　　）	（　　）	
フリガナ 氏名				
受験科目 外国語	英語　・　外国人用　日本語　英語			
受験科目 小論文	英語　・　日本語			

写真貼付
出願前３ヶ月以内に撮影したもの（縦４㎝×横３㎝）写真の裏に氏名を記入し，貼付すること。

（注）１．※印欄は記入しないこと。
２．必要事項を記入し，該当事項を○で囲むこと。
３．「志望の研究分野」欄は，複数の分野への志望がある場合のみ第２志望以下を記入すること。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 切りはなさないこと ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

平成　　年　　月入学
鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）受験票

受験番号	※			
選抜区分	1 一般選抜　2 社会人特別選抜　3 外国人留学生特別選抜			
志望の研究分野（希望する予定指導教員名）	第１志望	第２志望	第３志望	
	（　　）	（　　）	（　　）	
フリガナ 氏名				
受験科目 外国語	英語　・　外国人用　日本語　英語			
受験科目 小論文	英語　・　日本語			

写真貼付
出願前３ヶ月以内に撮影したもの（縦４㎝×横３㎝）写真の裏に氏名を記入し，貼付すること。

（注）１．※印欄は記入しないこと。
２．必要事項を記入し，該当事項を○で囲むこと。
３．「志望の研究分野」欄は，複数の分野への志望がある場合のみ第２志望以下を記入すること。

平成　　年　　月入学

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）研究志望書

受　験　番　号
※

志望研究分野	
予定指導教員	
フリガナ 氏　　名	

志望する研究テーマ，目的，動機，内容についてまとめる。

注）本用紙に，1000字程度で作成すること。なお，ワープロ使用の場合は，本様式（Ａ４）にならい作成すること。

平成　　年　　月　　日

医歯学総合研究科長　　殿

受　入　内　諾　書（第１志望）

平成３０年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験において、下記の者が合格した場合は、指導受入を承諾いたします。

分野名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
（自筆）

記

選 抜 区 分　：　一般選抜　・　社会人特別選抜　・　外国人留学生特別選抜
※いずれかを〇で囲むこと。

氏　　名　：

注）１．この受入内諾書は、入学志願書の「志望の研究分野」欄に記載した研究分野の指導教員に印鑑をもらった上で、出願の際に必ず提出してください。
２．「指導教員」欄は、必ず受入予定指導教員が自筆署名・捺印してください。

平成　　年　　月　　日

医歯学総合研究科長　　殿

受　入　内　諾　書（第２志望）

平成３０年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験において、下記の者が合格した場合は、指導受入を承諾いたします。

分野名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
（自筆）

記

選 抜 区 分　：　一般選抜　・　社会人特別選抜　・　外国人留学生特別選抜
※いずれかを〇で囲むこと。

氏　　名　：

注）１．この受入内諾書は、入学志願書の「志望の研究分野」欄に記載した研究分野の指導教員に印鑑をもらった上で、出願の際に必ず提出してください。
２．「指導教員」欄は、必ず受入予定指導教員が自筆署名・捺印してください。

平成　　年　　月　　日

医歯学総合研究科長　　殿

受　入　内　諾　書（第３志望）

平成３０年度鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験において、下記の者が合格した場合は、指導受入を承諾いたします。

分野名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

指導教員＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印
（自筆）

記

選 抜 区 分　：　一般選抜　・　社会人特別選抜　・　外国人留学生特別選抜
※いずれかを〇で囲むこと。

氏　　名　：

注）１．この受入内諾書は、入学志願書の「志望の研究分野」欄に記載した研究分野の指導教員に印鑑をもらった上で、出願の際に必ず提出してください。
２．「指導教員」欄は、必ず受入予定指導教員が自筆署名・捺印してください。

ここを切り取って提出すること

検定料の払込について

払込方法

１　検定料３０，０００円は、本学募集要項に添付されている払込取扱票等（朱書）に必要事項を記入のうえ、最寄りの郵便局窓口で、出願手続き前までにお払込みください。
　出願書類を大学窓口で提出する際に、普通為替証書あるいは現金を納付して手続きすることはできませんのでご注意願います。

２　郵便局払込用紙（払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・振替払込受付証明書（お客さま用）の３枚連記の赤い用紙）の「ご依頼人欄」へ下記要領により黒のボールペンで正確に記入してください。**郵便局へ提出するまで３枚は切り離さないこと。**
①　払込取扱票は、研究科名、専攻名、おところ、おなまえ（フリガナ）、電話番号を記入する。修士課程・博士課程の欄は該当を〇で囲む。
②　振替払込請求書兼受領証は、おなまえを記入する。
③　振替払込受付証明書は、住所、氏名を記入する。

３　払込後「振替払込受付証明書（お客さま用）」（受付局日附印のないものは無効）を「検定料納付確認票」に貼付して、出願書類と一緒に提出してください。
　また、振替払込請求書兼受領証は領収書となりますので各自で保管してください。

留意事項
１　検定料が払込まれていない場合、「振替払込受付証明書(お客さま用)」が貼付されていない場合、「振替払込受付証明書（お客さま用)」に受付局日附印がない場合は、入学願書の受理はできません。
２　ＡＴＭ(現金自動預入払出機)、インターネット等での払込もできません。ご了承ください。

きりとり線

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻(修士課程)
入学試験　検定料納付確認票

※　受験番号	
氏　　名	
振替払込受付証明書（お客さま用）貼付欄	

注）　※印欄は大学側で使用するので、記入しないこと。

受験及び就学に関する承諾書

平成　　年　　月　　日

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長　殿

所属機関所在地
所 属 機 関 名
代 表 者 氏 名　　㊞
電　話　番　号

下記の者が，鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（平成　　年度　　月入学）の社会人特別選抜試験を受験し，また，受験の結果，本人が本研究科に入学する場合は，当機関に在職のまま就学することを承諾します。

記

氏　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

生年月日　昭和／平成　　年　　月　　日

現 住 所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

職　　名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科
医科学専攻（修士課程）入学試験
出願資格認定申請書（平成　年　月入学）

整　理　番　号
※

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科長　殿

貴大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻（修士課程）入学試験に出願を希望します。
ついては，出願資格（　　）の認定を受けたいので，関係書類を添えて申請いたします。

平成　　年　　月　　日

フリガナ
氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　男・女

（　　年　　月　　日生）

本　人	現住所	
	連絡先	［電話（　　）　　－　　］
	国　籍（外国人のみ）	
保証人	氏　名	
	住　所	［電話（　　）　　－　　］

学　　歴（※）	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	
年　　月	

職　　歴	
年　　月	常勤・非常勤
年　　月	常勤・非常勤
年　　月	常勤・非常勤
年　　月	常勤・非常勤
年　　月	常勤・非常勤

※学歴は高等学校卒業から記入すること。ただし，外国人申請者は小学校入学から記入すること。

興味のある研究テーマ及びその内容について説明してください。

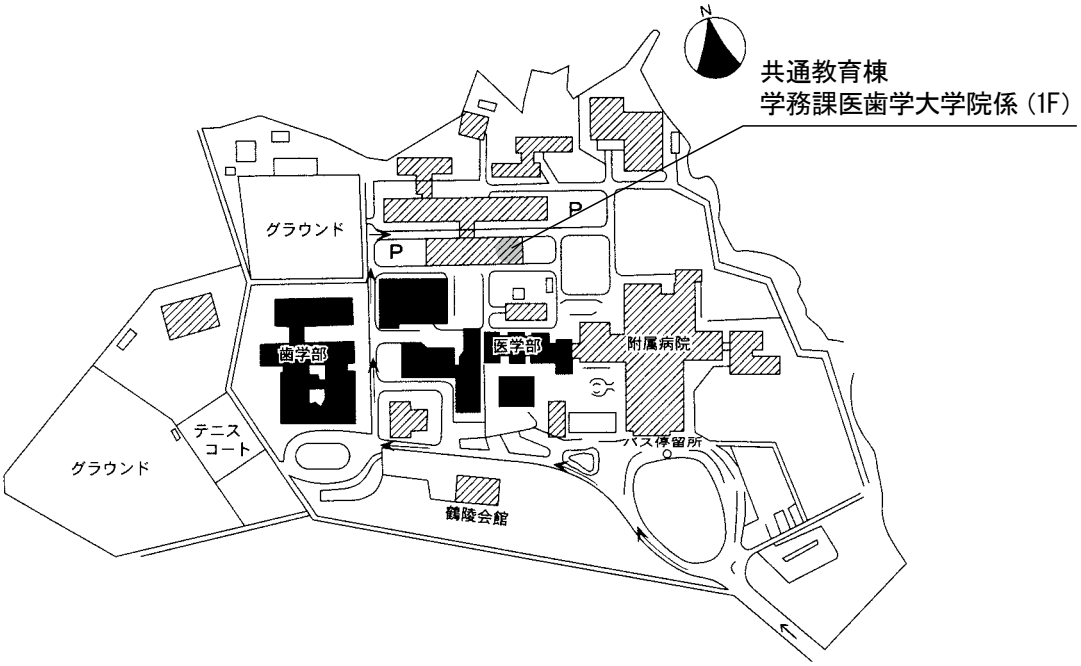
以下は該当する事項がある場合に記入してください。なお、記入事項を証明する書類・資料（コピー可）を提出してください。

取得年月	取得資格
年　月	
業績（論文や学会での発表など）	
論文の場合：著者名、論文名、掲載誌名、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦） 学会発表の場合：発表者名、演題名、形式（口頭、ポスターなど）、学会名、発表年月日（西暦）	
期間	研究に関連する研修受講・その他活動等
年　月～ 年　月	
期間	海外における学習経験または活動経験
年　月～ 年　月	
その他特記事項（所属している学会等名）	

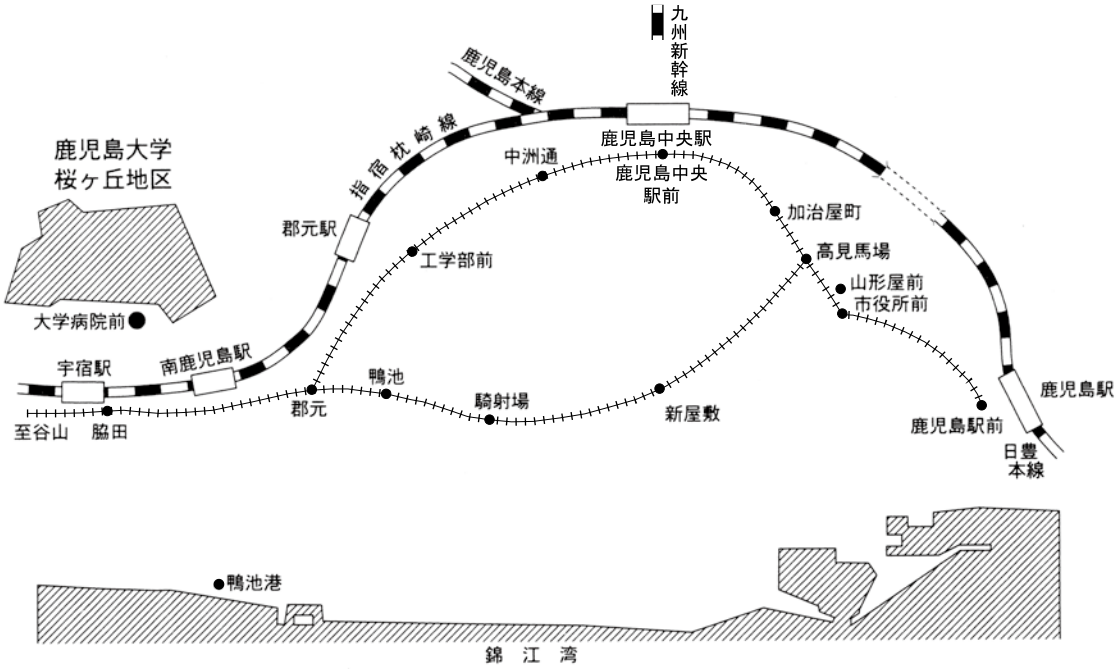
※記入欄が不足する場合は、別紙（本用紙コピー可）に記載してください。

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科医科学専攻入学試験場

鹿児島大学桜ヶ丘地区



鹿児島大学大学院医歯学総合研究科案内図



本学への交通機関

⑴　市電谷山線脇田電停下車　徒歩20分

⑵　ＪＲ指宿枕崎線宇宿駅下車　徒歩20分

⑶　市営バス18番線大学病院経由桜ヶ丘団地行　大学病院前下車

⑷　鹿児島交通バス14，17，18，19，34，40番線　大学病院前下車

※　市電，ＪＲ下車後は，脇田電停前又は宇宿小学校前から市営バス大学病院線（シャトルバス：脇田電停前～桜ヶ丘団地）をご利用ください。